

a 学校教育目標	地域に愛着と誇りを抱き、 夢の実現に向け自ら学びを求め、行動できる子どもの育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 地域・保護者の信頼を得、心から「西小で学んで良かった」「通わせて良かった」と誇りに思われる学校
----------	--	----------------------	--

評価計画					自己評価					改善方策	学校関係者評価			
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
働き方改革の推進	新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制を構築する。	「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の勤務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために課すべき措置に関する指針」に基づいた取組の構築と推進	・教職員の時間管理能力の向上 ・学校経営会議や部会を通して業務の精選及び学校行事等の見直しや改善	100%					○各月45時間を超えない 4月 0/25人 5月 0/25人 6月 15/25人 7月 0/25人 8月 0/25人 9月 3/25人 10月 6/25人 11月 1/25人 12月 7/25人 1月 0/25人	成績処理の業務が時間外勤務時間の増加につながっている。今後は、校務支援システムの効果的な活用と業務の標準化を行う。そのためには、令和3年度の教育活動及び各分掌の業務内容の見直すとともに、教職員の時間管理能力の向上を図る。	○		○教師の仕事は、工場での生産とは異なり標準化は困難である。教職員の時間管理能力の向上を図ることは大切である。 ○一ヶ月に一度でも時計を知らぬ工夫は如何ですか。	
確かな学力の育成	主体的に学び合う児童を育成し、学力の向上を図る。 「かしこく」自ら学ぶ子ども	「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を通して、本校で育成を目指す資質・能力をもった、自ら学ぶ児童の育成を図る。	西小学校「家庭学習の手引き」をもとに保護者に対して家庭学習の協力を促し、家庭学習の習慣化と充実を図る。	『主体的な学び』に関する児童アンケート肯定的評価 ・低 家庭学習時間定着率 ・中高 自主学習定着率	85%以上				7月と同じ結果であった。理由として、行事や体験活動の場が設定できず、体験から課題を見つけ出す場が減っていることや状況に合わせて、考えていた課題が急遽変更したことなどが考えられる。	・カリキュラムマネージメントを教師側が見直し、コロナ禍でも対応できるカリキュラムを考え、新しいスタイルに対応した単元計画を教師側がもって授業を進めていく。 ・ICTの活用により、調べ学習やオンラインを活用し、視覚的に興味をもてる学習を進める。 ・課題を基に授業研修を積み、授業改善を図る。 自主学習定着者から、家庭学習時間定着者に全校変更したが、児童の学習定着率に沿って、自主学習を進めたい。内容として教師が提示する家庭学習に加え、自ら復習・予習したい単元を決め、自分で考え学習できるように、自主学習の内容について、進め方を提示し、全校で系統的に自主学習を進めるようにする。 「家庭学習の手引き」の見直しを図る。	○	○	○目標値の設定に問題があるのではありませんか。今年度は学習時間の確保が困難であったならば、目標値も変更すべきではなかったのか。	
					①全国学力・学習状況調査全国平均値通過率 ②業者単元テスト国語科「読むこと」全国平均値通過率 ③標準学力調査全国平均値通過率	低学年 87.0% 中・高学年 76.0% 平均 81.5% ① ② ③ 80%以上 ② 88.5%	低学年 80.0% 中・高学年 41.0% 平均 60.5% 82.3% 92%	68% B	7月より14.5%下回っている。 理由として、「家庭学習の手引き」変更があげられる。授業の復習時間もしっかり確保することで、学力の積み上げが生まれ、次時の学習に既習の知識をもち臨めると考え、自主学習ではなく、全員同じ内容の課題を出して取り組むこととした。その結果、自主学習の定着率が下がってしまった。	1. 2. 6年生において目標値を達成することができたが、3. 4. 5年生において達成できなかった。最後まで解こうとする意欲が高まってきたいるが、まだ十分とは言えない。問題の意図や解答の仕方を理解できていないのが原因と考える。	・教科書に沿った復習プリントを全学年確実に取り組み、本年度の学習の定着を図る。 ・補充学習時間を10分間設け、計算や読みの反復をさせる。 ・引き続き読みのプリントに取り組み、「読解する力」を付けさせる。 ・独自のフォローアップに、取り組ませる。 ・来年度も授業改善努め、分かりやすい授業づくりに努める。	○	○	○取り巻く環境社会が多様化の中で、厳しい選択が求められる感じを受けます。 ○コロナ禍の中でよく頑張っていると思います。
豊かな心の育成	様々な人や事象とのかかわりを通して、社会性や豊かな人間性を培う。 「なかよく」心豊かな子ども	合唱と読書活動等の充実と奉仕活動等を通して、豊かな感性・豊かな心の育成を図る。 特色ある地域の学習材や人材の活用と交流を通して、地域を想う心情を育てるとともに、社会貢献意識と規範意識の向上を図る。	学年(学級)ごとに児童の実態に応じた合唱に取り組み、仲間意識や表現力の育成を図る。また日常的な音声表現活動(詩や短歌・俳句等の音読・暗唱)を通して、自己表現に自信を持たせる。	『自らへの自信』に関する児童アンケート肯定的評価	低90% 中95% 高75%以上	低85% 中73% 高76%	低86% 中82% 高80%	99%	B	高学年は、目標を達成することができたが、低・中学年は目標値よりは低い。しかし、7月の結果と比べると、低・中学年ともに、数値が上がっている。そのことから、行事が制限されている中、2学期の各学年の取組によって、児童の自己肯定感が高まったといえる。	学級活動の中で、役割を持たせ、自己存在感を高めていくようにする。また、友達同士で評価する場面を設け、共感の人間関係を育成する。『職員全体で全員の児童をみる』という意識を持ち、担任以外児童に積極的に関わり、肯定的評価をしていく。来年度も行事が制限されることもあると思うが、その中でも児童の自己肯定感を高めるような活動を仕組む。	○	○	○自己肯定感を高めることは、世界的に見ても大切である。 ○ふるさと学習は、他校に誇れるものであります。児童にとっても貴重な体験となります。
					『貢献意識』に関する児童アンケート肯定的評価	95%以上	93.0%	95.0%	100%	A	目標を達成することができた。また、7月の結果と比べると、2%上がっている。ふるさと学習が1学期よりもさらに活動できたことや児童会の取り組みの中で、掃除ががんばりカードを配布したことなどが、児童の貢献意識を高めることにつながったと考えられる。	来年度も行事が制限されることもあると思うが、児童会の貢献意識を高めるような活動を仕組む。	○	○
健やかな体の育成	自らの体力と健康を向上させ、自己管理能力の育成を図る。 「たくましく」健やかな子ども	組織的・計画的実施により児童の体力の向上を図る。 食教育や保健・安全教育の推進により、自己管理能力の育成を図る。	児童アンケートや体力テストの調査の結果分析をもとに、課題克服のための取組(校内研修、外部講師による児童への直接指導、小中連携等)を充実させ、教職員の意識向上と児童の体力向上を図る。	①体力テスト全国及び県平均値以上達成率 ②2学期に行った重点項目の自己目標達成率	①75%以上 ②85%以上	①立ち幅跳び50% 反復横跳び91.7%	①立ち幅跳び66.7% 反復横跳び41.7% ②立ち幅跳び50.1% 反復横跳び42.5%	①72.3% ②54.8%	C	・コロナ禍で行動が大きく制限され、継続的な取組を十分行うことが出来なかったため、9月に計測した記録よりも1月に計測した記録の方が下がった学年が多かった。特に、高学年に体力的課題が大きかった。 ・自己目標に届いていない児童が多かった。コロナ禍で十分運動ができなかったのが原因であるが、個々の目標設定の仕方にも課題があったと考える。	・感染症対策をしながら、運動量を十分確保できるように授業づくりや、継続的な取組を行っていく必要がある。 ・自分の体力の実態を適切に把握し、妥当な目標を設定させる。コロナ禍の中でも「体力アップ」のメニューを工夫するなどして、家庭等で自分のできる体力向上のための方法を考えさせる。	○	○	○下校時刻は親の車を利用し、歩行量の減少、外遊びの減少などがあげられます。家庭の理解向上を図ることも大切であると考えます。
					『食育』『保健・安全』に関する児童アンケート肯定的評価	75%以上	79.0%	80.0%	106%	A	・給食を給食時間に食べきっている +3% ・体を動かすことが楽しい ±0% ・進んで外遊びや運動をしている +2% ・家庭学習で体力アップをしている +11%	・感染症対策をしながら残食予防をしていく必要がある。 ・委員会等から外遊びの声かけを行ったり、体を動かす楽しさを味わえるような取組を行ったりしていく。	○	○

【j: 自己評価 評価】

A: 100≧(目標達成) B: 80≧(ほぼ達成) <100
C: 60≧(もう少し) <80 D: (できていない) <60

【l: 学校関係者評価 評価】

イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でないハ: 分からない。